

平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

大阪市立今福	小学校	児童数	170
--------	-----	-----	-----

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.65	19.81	28.94	41.69	53.81	9.31	140.76	26.47	51.67
大阪市	16.49	19.23	32.34	39.54	49.98	9.37	149.36	22.61	52.79
全国	16.51	19.92	33.15	41.95	52.24	9.37	151.71	22.53	54.16
女子	15.75	14.92	31.58	37.58	33.33	9.34	133.58	12.00	50.42
大阪市	16.18	18.20	37.06	37.88	39.64	9.60	143.32	14.07	54.58
全国	16.12	18.81	37.43	40.06	41.62	9.60	145.47	13.94	55.72

結果の概要

男子は、昨年度より平均値が改善した種目として課題であった反復横跳びが5ポイント、シャトルランが10ポイント、ソフトボール投げが8ポイント改善した。その結果、体力合計点は28年度より2ポイント改善できた。反対に、立ち幅とびは昨年度と同様、全国平均値と比べ、11ポイント低い結果となった。また、体の柔軟性を見る長座体前屈は昨年度に比べ4ポイント下がった。

女子は、昨年度に比べ各種目の平均値が下がっている。本校の調査対象児童数は29名（調査期間中在籍数）、女子は12名である。個々の児童の記録が大きく影響している。昨年度は体力合計点が全国平均値を上回ったが、本年度は大きく下回っている。また、シャトルラン、立ち幅とびは本校の昨年度平均値からも10ポイント以上下回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育科の授業改善として、1時間の授業における児童の運動時間が増えるようにしてきた。また、運動技能を高めるために、教え合いや学び合いの時間を取り、1時間の体育科の学習時間を有効に活用してきた。授業以外では、日常の学校生活の中で休憩時間には外遊びを励行し、児童の委員会活動の中で、体育倉庫の遊具の貸し出しをするなどして、児童が外遊びを楽しめるように工夫してきた。各学期に長縄を使った「なわとび大会」を全校で実施、各学級対抗で競い合うとともに運動が好きになる大切な要素の一因である仲間づくりも育んできた。3学期には2週間にわたって「かけあし週間」を設定し運動場を全校児童が走る時間を設けてきた。

学校を上げて取り組むことで、シャトルランや反復横跳びなどの種目での平均値の改善はみられた。しかし、年度による運動能力にかかる児童の実態に記録が大きく影響されるために本校の児童の運動能力の実態は正確に把握できていない。しかし、これまでの授業改善からの取り組みが少しずつ成果を生み出していることも事実であることから、多種多様な運動ができる機会を児童に与え体験させ、体を動かす楽しさを感じさせることで、児童自ら自分の成長を味わい、より一層運動に取り組める児童の育成を進めたい。